

◆…排水路のヘドロ、竹炭パワーで自然浄化へー巨椋池(おぐらいけ)干拓田を流れる排水路の定期的な掃除や草刈りなどを市民有志が担う「巨椋水辺づくりプロジェクト」(辻昌美代表、40人)の活動が21日に行われ、ヘドロ浄化の切り札として竹炭と鉄を加えた練炭タイプの竹炭加工品が排水路に投入された。

ヘドロ浄化、竹炭パワーで 巨椋池干拓田の排水路 練炭タイプ、京のNPOが開発

◆…排水路に投入したのは「キレートマリン」と呼ばれる練炭タイプの重さ約3・5キの竹炭加工品。荒廃した放置竹林の整備や竹林の有効活用で地域の自然環境が回復した。

◆…竹炭(炭素)と鉄で構成した練炭タイプの「キレートマリン」を水路に投入。植物プランクトンの栄養源となる鉄の炭酸塩の効果で植物プランクトンを増やし、食物連鎖で動物プランクトンや微生物を増殖させ、川底に堆積したヘドロを自然浄化させる。

◆…朝からの作業では水辺づくりプロジェクトのメンバー15人が近鉄京都線踏切付近(宇治市榎島町)から下流約400メートル



の鴨(しぎ)沢橋までの水路の除草、ピオトープ水路周辺の植栽管理、ゴミ収集を実施。計80個の練炭タイプの「キレートマリン」を生き物の隠れ場所となる水位の深い3カ所の「わんど」(入り江)に投入した。

◆…府山城広域振興局では「竹・流域環境ネット」とタイアップして水路の水や土壌のサンプルを定期的に採取し、竹炭加工品の効果を検証している。

◆…近鉄線踏切から下流の水路改修では、府内産の間伐材や山城産竹材を使って「淀み水路」を開設。や、竹炭や循環水路の開設による水質浄化などにも配慮し、踏切上流域にも竹炭を設置した経過がある。

◆…水辺づくりプロジェクトの辻昌美代表(74)は「榎島町圃場」は「定期的な清掃で川の粗大ごみは減ったが、川の水そのものをきれいにするのが本来の目的」と話し、プロジェクトの力でヘドロの浄化が図られる新たな竹炭加工品のパワーに期待を寄せている。

【写真】排水路に投入した練炭タイプの竹炭加工品(巨椋池排水幹線)】

【岡本幸一】